



七月の幼稚園

七月の保育

幼稚園……堀合文子  
 保育所……鈴木とく

堀合文子

<p>主 題</p>	<p>年 少 組</p>
<p>○金魚やさん          前月末に金魚鉢作ったのをとっておいて、金魚や金魚鉢、金魚鉢に入れた金魚、おたまじやくし、めだかを作って簡単に金魚やさんごっこをする。          売るばかりでなく釣って遊ぶ所も作るとおもしろい。          ○七夕まつり          ・短冊色紙に字でも絵でもよい。かいてつるす。          ・かざりを作る。          ・お話を聞く。</p>	<p>年 長 組</p> <p>○水族館          ・計画を話合う。          ・お魚の絵等を部屋に飾っておく。          ・お魚をつくる。          ・空箱利用して一つ一つお魚をつるす。          ・開館の準備          ・開館          ○七夕まつり          ・年少と同じだが、かざりもの等に年令の差をつけて種々複</p>

観 察	お 話
<p>○金魚 六月に金魚の観察を入れたが、金魚やさんをするのに又改めて皆で金魚をよくみたい。又ちがつた所がみられるとおもう</p> <p>○お星さま 夏になるとお星様がとても美しくみえる。夜の事だし皆とみられないが、歌をうたつたり、話合つたりして、お星さまに親心をもたせたい。</p> <p>○朝顔 種子をまいておいた朝顔が花をひらくようになるから花の形葉の形、つるの様子等、皆と話合いながらみたい。</p> <p>○団扇 夏に用いるものとして、白い団扇に自分のすきな絵をかいたり切紙したりして、先生も字のや絵のをみせてあげ、部屋に三、四本おいておき、まゝごと等で用いるとよい。</p>	<p>・七夕まつりのあつまりをする。</p> <p>○夏休みがくる ・夏休みの事を話合う。 ・夏休み中の約束をする。</p> <p>○つばめさん</p> <p>○七夕さまのお話</p> <p>○すいかとねずみ</p> <p>○紙芝居</p> <p>○人形芝居</p>
<p>○お魚 水族館をするために、絵なり、実物なりで種々のお魚をみせたい。</p> <p>そのお魚によつて形、色がちがうのでそんな事も話合いたいよく自分の食べるお魚位は名前をおぼえるとよい。</p> <p>○七夕まつり 年中行事として、色々飾つておまつりをたのしむ。字をかいてさげるのは字が上手になるように、又御裁縫が上手になるようにつくつてさげる等も簡単に話して聞かせる。</p> <p>お星様の話も名前をくわしく話す必要はないが、牽牛、織女位は話しておきたい。</p>	<p>雑なものにするるとよい。</p> <p>○夏休みが来る 年少と同じ。</p> <p>○海ひこ山ひこ</p> <p>○七夕さまのお話</p> <p>○ありのおみこし</p> <p>○紙芝居</p> <p>○人形芝居</p>

音楽  
リズム

○金魚 (歌と自由表現)

○金魚やさん(ごっこ)

金魚になる子供、金魚やさんになる子供、金魚をかくる子供に分れて、金魚の子供達に自由に泳がせておく。金魚をかくる子供が買いに来て好きな金魚をかつてゆく。すべてピアノにあわせる事が大切な事。金魚は金魚の速さに、かくる人は人なりのはやさで、同曲にあわせなければならぬ。

○お星さま (歌と自由表現)

○七夕(歌)

○楽隊あそび

ハンドカスタ

この一学期はハンドカスタが皆上手にうてるよう計画したので、ハンドカスタで種々の叩き方が誰でも出来るようになってきた。

○金魚づくり

背中をつといている金魚でも、紙一枚の金魚でもよいから、なるべく自分でかゝせたい。

○金魚鉢作り

四角でも四いのもよい。  
内側は水色にぬり、外側は好きな色にぬらせる。

○金魚を入れておくところ

四角くやはり内側を水色にして、その中に金魚を泳がせてお

○お魚のお家 (自由表現)

皆が好きなお魚になる。

お魚達が遊んでいる中にあらしがやつてきたり、お魚達がねむっているのを、○○のお魚おきなさいとゆうと、そのお魚がおきて海の中を泳いでくるとゆう風に自由に遊びたい。

○七夕さま(うた)

○朝顔(うた)

○夕立(リズム遊び)

かみなりさまになる子供と、にげる子供とに分れ、はじめ子供があそんでいると、夕立がきてにげ出す。

○お魚づくり

わら半紙にえのぐでお魚をかき、二枚一緒に切ぬきその間に紙屑を入れてはりあわせる。

この紙屑もふつくらするうちにこまかく切つて入れないと、べちやんこのうすべつたい感じになってしまう。

外の紙も画用紙でなく、うすいものがやわらかきが出てよい出来たお魚を糸でつるす。

○海藻、岩づくり

絵  
製作

健康の習慣	習よ慣き	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日向であそぶ時は帽子をかぶりましょう。</li> <li>• 汗が出たら自分でふきましよう。</li> <li>• 夜おそくまでおきていないで、はやくねましよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 立つたら椅子をちゃんと元にもどましよう。</li> <li>• 朝はちゃんと顔を洗いましよう。</li> <li>• 出したものはちゃんとしまいましよう。</li> <li>• 紙屑は紙屑かごに入れましよう。</li> </ul>	<p>いである。</p> <p>○七夕のかざり作り 年少だからあまり手のこまない、簡単に二つ位がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• わつなぎ</li> <li>• ふね</li> <li>• ちようちん</li> </ul> <p>○おえかき(自由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• えのぐで</li> <li>• シレヨンで</li> <li>• 指絵</li> </ul> <p>○切紙(自由)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年少と同じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• よばれたら、いつでも、どこでも「はい」とおへんじましよう。</li> </ul>	<p>海の中の昆布、海藻、岩もつくつて、その中におくと感じが一そうつよい。</p> <p>この水族館は小さいのをいくつもつなげるようにしたが、黒板全体を一つの水族館にして、大きいお魚をつるすのおもしろい。お魚はずつと大きくなる。</p> <p>○おえかき(自由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• えのぐで</li> <li>• シレヨンで</li> </ul> <p>○切紙自由</p>

## 七月の保育所

鈴 木 と く

梅雨あけと共に、陽ざしもぐんと強くなつて、子供たちは、だま

つていても裸になつて飛びまわり、水をいたずらし、活動も、はげ